

#### 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕 (非連結)

平成25年8月5日

上場会社名 サイバーコム株式会社 上場取引所 東

コード番号 3852 URL http://www.cy-com.co.jp 者 代 表 (役職名) 代表取締役社長

(氏名)渡辺 剛喜

(役職名) 常務取締役 問合せ先責任者 (氏名) 佐藤 文昭 (TEL) (045) 312-3271(代表)

平成25年8月7日 四半期報告書提出予定日 配当支払開始予定日 —

: 無 四半期決算補足説明資料作成の有無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

# 1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日) (1) 経営成績(累計) (%表 (%表示は、対前年同四半期増減率)

(1) 作品 (2) (2) (3) (1)					,	プロエババのマ	M1111 1 1-11-11	/41-P #/W T- /	
	売 上	高	営業利益		経常和	引益	四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
26年3月期第1四半期	1, 786	7. 0	137	34. 2	141	33. 9	87	23. 4	
25年3月期第1四半期	1, 669	4. 8	102	△4.5	105	△11.8	71	1.4	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	43. 82	_
25年3月期第1四半期	35. 51	_

### (2) 財政状態

	総	資	産	純	資	産	自己資本比率
			百万円			百万円	%
26年3月期第1四半期			5, 459			3, 130	57. 3
25年3月期			5, 235			3, 098	59. 2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,130百万円 25年3月期 3,098百万円

#### 2. 配当の状況

2 · Bu = 07 //////									
	年間配当金								
	第 1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合 計				
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭				
25年3月期	_	0.00	_	28. 00	28. 00				
26年3月期	_								
26年3月期(予想)		0.00	_	35. 00	35. 00				

<sup>(</sup>注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 :無

#### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

(70数316代 超别6为制制代目下别6为制 下科目下别6加州									1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	売 上	高	営業利益 経常利益		常利益 当期純利			1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3, 650	5. 0	200	13. 2	205	12. 5	119	34. 6	59. 34
通  期	7, 500	4. 7	450	19. 3	460	12. 4	295	21. 7	147. 10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

# ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

 ② ①以外の会計方針の変更
 : 無

 ③ 会計上の見積りの変更
 : 無

 ④ 修正再表示
 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	2,005,400株	25年3月期	2,005,400株
26年3月期1Q	73株	25年3月期	73株
26年3月期1Q	2,005,327株	25年3月期1Q	2,005,379株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

# ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理 的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありま せん。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 〇目 次

1		当匹	半期決算に	に関する気	定性	的情報		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
	(	1)	経営成績に	こ関する気	定性	的情報			•	•	•		•		•	•	•	•	•		2
	(	2)	財政状態に	に関する気	定性	的情報		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
	(	3)	業績予想は	2関する気	定性	的情報		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
2		サマ	リー情報	(注記事項	頁)	に関す	る事	項	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	3
3		継続	企業の前提	是に関する	る重	要事象	等の	概	要	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
4		四半	·期財務諸表	₹				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
	(	1)	四半期貸借	計対照表					•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	4
	(	2)	四半期損益	注計算書				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
		【第	1 四半期累	計期間】																	
	(	3)	継続企業の	前提に関	関す	る注記		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
	(	4)	株主資本の	金額に着	害し	い変動	があ	0	た	場	合	0)	注	記	•	•	•	•	•	•	6

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、欧州の債務問題や米国財政問題等による海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとしてあるものの、東日本大震災以降の復興需要等の継続や、新政権による経済政策への期待感から、円安、株高が進行し、企業の景況感や消費者マインドは改善傾向にあり、回復基調で推移いたしました。

当業界においては、ソフトウェア開発における短納期化及び低コストの常態化が継続しておりますが、スマートフォンやタブレット端末の継続的な市場規模の拡大に加え、それに伴うモバイルデータトラフィックへの対応や、社会インフラ、エネルギー等の成長分野における需要拡大、クラウド・コンピューティングの進展により、IT投資需要は堅調に推移しております。

このような状況下、当社は業界のニーズに対応すべく今後の進展が見込まれる分野への案件獲得に注力すると共に、リピートオーダーの確保や新規顧客の開拓に向け、積極的な受注活動を推し進めてまいりました。特に受託開発においては、W字モデルの開発手法を取り入れた「当社標準開発モデル」やソフトウェアの構造分析を行う「リバースエンジニアリングサービス」の活用等により品質の向上を図ると共に、OSSの活用や部品化の徹底、強化等により生産性向上を図ってまいりました。また、SIサービス(構築・保守・運用サービス)や中小規模のコールセンターを高機能・低コスト・短納期で構築可能な「Cyber-Smart CTI」を中心とするプロダクト等の販売強化にも努めてまいりました。

さらに今後の顧客ニーズを見据え、ソフトウェア資産を有効活用し、安価・短期間・高品質に新プラットフォームへの移行を実現する「マイグレーションサービス」や、ソースコードを解析し、ソフトウェア開発・保守において、重要な資料となる設計書・ドキュメントを生成する「ドキュメント生成サービス」等の新サービスの立ち上げも積極的に行っております。

以上の結果、当事業年度における経営成績は、売上高17億86百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益1億37百万円(前年同期比34.2%増)、経常利益1億41百万円(前年同期比33.9%増)、四半期純利益87百万円(前年同期比23.4%増)となりました。

当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### (ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業の売上高は13億68百万円(前年同期比4.4%増)、 営業利益2億8百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

内訳として、通信ソフトウェア開発は、ネットワーク構成をソフトウェアで動的に設定・変更できるSDN関連のシステム開発案件、LTE網やIPネットワーク網を支える伝送装置、ネットワーク網監視システム、ルータ、スイッチの開発案件等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、車載システム、半導体制御装置、工業用機械制御装置の開発案件等を中心に受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、電子カルテ等の医療系、ECサイト構築、エネルギー関連のシステム開発案件等を受注いたしました。

#### (サービス事業)

サービス事業の売上高は 4 億17百万円(前年同期比16.7%増)、営業利益61百万円(前年同期比24.5%増)となりました。クラウド化やネットワーク網増強の潮流、BCP(事業継続計画)対策の需要拡大を受け、SIサービス(構築・保守・運用サービス)では、クラウド基盤の構築やデータセンターの運用案件、基地局、ネットワーク網の設計・評価案件等を受注いたしました。さらに、「Cyber-Smart CTI」を中心とするプロダクト等の販売も拡大いたしました。

#### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べて2億23百万円増加(4.3%増)し54億59百万円となりました。その内訳は、流動資産が2億32百万円増加(5.2%増)し47億10百万円となり、固定資産が9百万円減少(1.2%減)し7億49百万円となったことによるものであります。

流動資産増加の主な要因は、短期貸付金の増加3億2百万円、現金及び預金の減少90百万円によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて1億91百万円増加(9.0%増)し23億28百万円となりました。その内訳は、流動負債が1億91百万円増加(18.0%増)し12億54百万円となったことによるものであります。

流動負債増加の主な要因は、未払費用の増加4億89百万円、賞与引当金の減少2億84百万円によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて31百万円増加(1.0%増)し31億30百万円となりました。

#### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月8日発表の業績予想のとおり推移しており変更ありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

- 2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 該当事項はありません。
- 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 該当事項はありません。

# 4. 四半期財務諸表 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 020, 073	929, 685
受取手形及び売掛金	1, 506, 744	1, 439, 339
商品	4, 328	2, 438
仕掛品	72, 553	104, 934
短期貸付金	1, 602, 641	1, 904, 877
その他	279, 713	337, 379
貸倒引当金	△8, 740	△8, 635
流動資産合計	4, 477, 316	4, 710, 018
固定資産		
有形固定資産	248, 206	246, 506
無形固定資産	32, 998	25, 565
投資その他の資産	477, 279	477, 074
固定資産合計	758, 484	749, 146
資産合計	5, 235, 800	5, 459, 165
負債の部		
流動負債		
買掛金	145, 522	137, 500
未払費用	180, 032	669, 644
未払法人税等	102, 193	109, 991
賞与引当金	429, 677	144, 945
役員賞与引当金	20, 991	4, 553
工事損失引当金	4, 178	_
その他	180, 197	187, 570
流動負債合計	1, 062, 792	1, 254, 206
固定負債		
退職給付引当金	1, 046, 867	1, 058, 837
役員退職慰労引当金	27, 243	15, 492
固定負債合計	1, 074, 111	1, 074, 329
負債合計	2, 136, 903	2, 328, 536
純資産の部		
株主資本		
資本金	399, 562	399, 562
資本剰余金	307, 562	307, 562
利益剰余金	2, 391, 829	2, 423, 562
自己株式	△58	△58
株主資本合計	3, 098, 896	3, 130, 628
純資産合計	3, 098, 896	3, 130, 628
負債純資産合計	5, 235, 800	5, 459, 165

# (2) 四半期損益計算書 【第1四半期累計期間】

(単位:千円)

		(幸匹・111)
	前第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
	1, 669, 352	1, 786, 321
売上原価	1, 297, 436	1, 387, 015
売上総利益	371, 915	399, 306
販売費及び一般管理費	269, 206	261, 518
営業利益	102, 708	137, 787
営業外収益		
受取利息	2,037	3, 093
その他	1, 220	978
営業外収益合計	3, 258	4, 072
経常利益	105, 967	141, 860
特別損失		
固定資産除却損	187	
特別損失合計	187	_
税引前四半期純利益	105, 779	141, 860
法人税、住民税及び事業税	108, 075	107, 475
法人税等調整額	△73, 509	△53, 497
法人税等合計	34, 565	53, 978
四半期純利益	71, 214	87, 881

# (3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) 該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) 該当事項はありません。